

完了後の評価個表

| | |
|------|-------|
| 整理番号 | 4 - 1 |
|------|-------|

| | | | |
|--------|----------------------------|---------|---------------|
| 事業名 | (林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業 | 都道府県 | 福井県 |
| 地区名 | 美山地区 | 事業実施主体 | 福井県、福井市(旧美山町) |
| 関係市町村 | 福井市(旧美山町) | 管理主体 | 福井市(旧美山町) |
| 事業実施期間 | H12 ~ H16 (5年間) | 完了後経過年数 | 5年 |

| | |
|----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>位置等 当地区は、福井県の北部に位置し、西は旧福井市、東は大野市に接している。地区の中央部を足羽川が東西に流れ、その両側に地区の約89%を占める森林が広がる林業が盛んな地域である。</p> <p>森林の状況 当地区の森林面積は12,270haで、そのうちの61%にあたる7,424haが人工林となっている。人工林のうち間伐等の森林整備が必要となる 齢級から 齢級の森林は2,097haと28%を占めている。さらに、伐期を迎えた 齢級以上の蓄積が2,317千m³と豊かな森林資源が形成されている。</p> <p>また、保安林として、水源かん養保安林に1,628haが指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 これまでに7,424haの人工林が造成され、森林の蓄積は着実に増加しており、適正な森林整備が求められていたが、効率的に実施するための基盤となる林道等の路網が未整備であったため、林道の開設を実施した。</p> <p>間戸地区は、都市部と比べて生活排水施設の整備が遅れており、生活雑排水の直接排水による悪臭の発生や下流河川の水質汚濁の一因となっていたことから、生活環境の改善と併せて公共用水域の水質の保全を図る目的で林業集落排水施設整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道整備 大仏線 車道幅員 5.0m 開設延長 620m 利用区域 3,052ha 美山線 車道幅員 5.0m 開設延長 1,087m 利用区域 1,519ha 森林管理道整備 梅ヶ岩線 車道幅員 4.0m 開設延長 973m 利用区域 165ha 清水線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,120m 利用区域 90ha 河原奥山線 車道幅員 4.0m 開設延長 250m 利用区域 144ha 獺ヶ口西浦線 車道幅員 4.0m 開設延長 840m 利用区域 152ha 朝谷線 車道幅員 4.0m 開設延長 385m 利用区域 51ha 林業集落排水施設整備 間戸地区 対象戸数 26戸 総事業費 1,270,273千円 (当初総事業費 824,000千円)</p> |
|----------|--|

| | |
|-----------------------|---|
| 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 | <p>平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。なお、路線の追加に伴い事業計画を変更したため、総事業費が増加している。</p> <p>総便益(B) 3,067,727千円 総費用(C) 2,065,988千円 効果分析(B/C) 1.48</p> |
| 事業効果の発現状況 | <p>林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られ、整備前5年間の間伐面積約7haに対し、整備後5年間は約46ha(6.6倍)に増加した。</p> <p>林業集落排水施設の整備により、排水路からの悪臭等の発生が抑制され、生活雑排水の河川への直接流入による水質汚濁を防止した。</p> |
| 事業により整備された施設の管理状況 | <p>林道は、福井市(旧美山町)が定めた林道規則に基づき適切に管理され、年数回の草刈、側溝清掃等が適切に行われている。</p> <p>林業集落排水施設は、福井市(旧美山町)が管理に関する事項や使用料に関する条例を定め、維持管理経費を特別会計に計上して適切に維持管理されている。</p> |
| 事業実施による環境の変化 | <p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により、林業従事者の労働条件の改善や作業コストが低減が図られ、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上している。</p> <p>林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p> <p>林業集落排水施設の整備により、生活雑排水の河川への直接流入による水質汚濁等が防止され下流の足羽川等の水質保全が図られた。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 社会経済情勢の変化 | 林道の整備により、労働強度の軽減、高性能林業機械の導入や運搬車両の大型化が可能となり、作業コストの低減が図られ、林業生産性が向上しつつある。 |
| 今後の課題等 | <p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に改善されているが、木材価格の低迷等により人工林の間伐等の森林施業が十分とはいえない状況である。今後、当該事業により整備した林道から、作業道・作業路の整備を積極的に進めるとともに、高性能林業機械の利用を促進し、低コスト施業の推進を図り、林業生産性を向上させる必要がある。</p> <p>また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の意見： 基幹道が整備されたことにより、森林所有者や県民の森林に対する関心が高まっている。林道を活用したイベント等を行う事により、所有者に更に森林整備の意欲を持ってもらえるようPRをしていく必要がある。（福井県） 地元自治会と協力して引き続き維持管理を行い、森林所有者に積極的に森林整備を働きかけていきたい。（福井市） |
| 評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網の整備により間伐や枝打ち等の森林整備の推進や、生活排水施設の整備が遅れた地区における生活環境の改善等が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施にあたっては波形線形の採用による切・盛土量の抑制等コスト縮減が図られ、総事業費の縮減に結びついていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、木材生産・森林整備が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、林業集落排水施設の整備により快適で安全性の高い生活環境の構築に貢献していることから、事業の有効性が認められる。 |

便 益 集 計 表

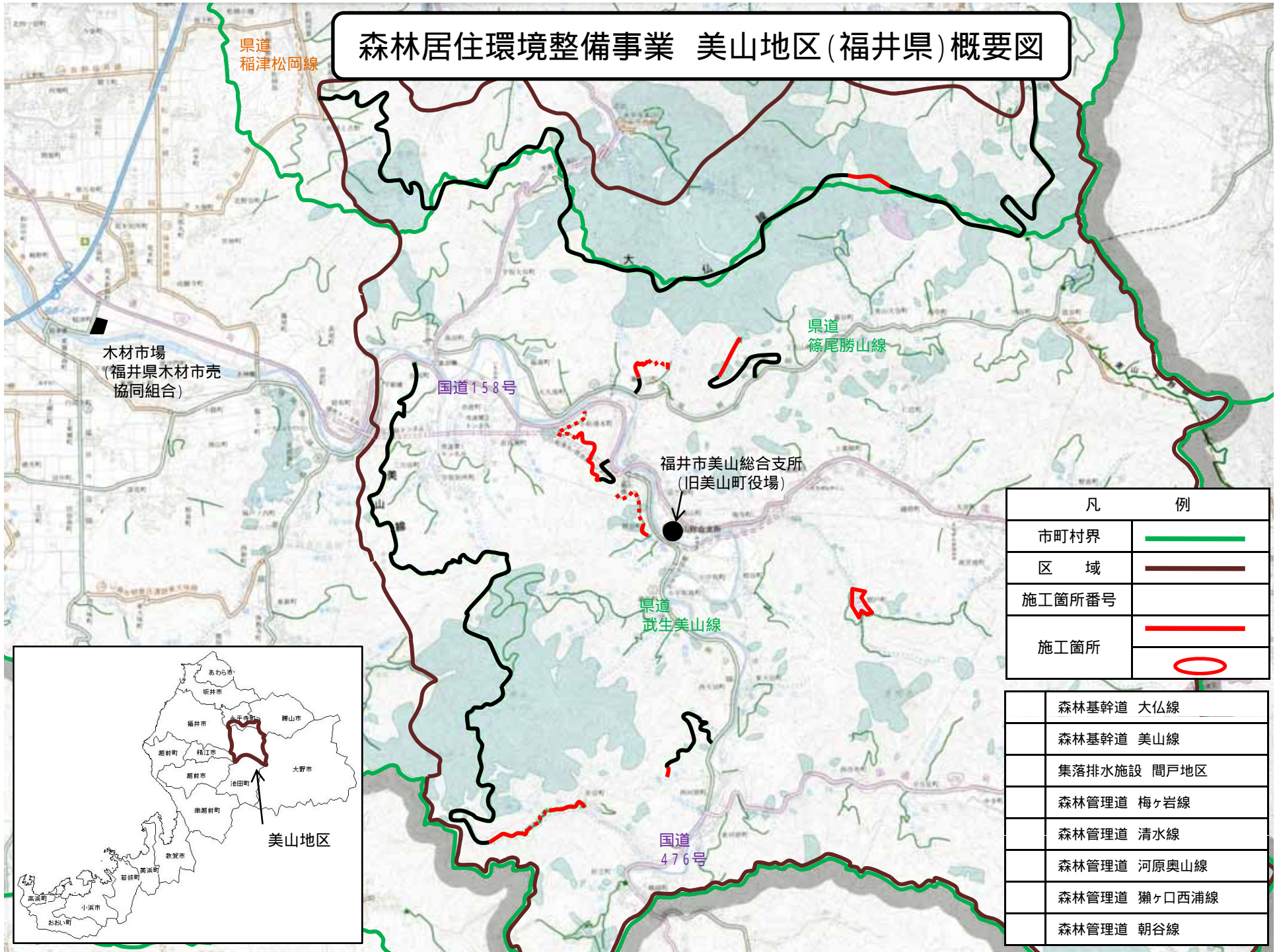
(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業
地区名: 美山

福井県
(単位: 千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-------------|---|-----------|-----|
| 木材生産等便益 | 木材生産経費縮減便益 | 233,949 | |
| | 木材生産確保・増進便益 | 1,352,035 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 造林作業経費縮減便益 | 527,642 | |
| | 森林管理等経費縮減便益 | 8,013 | |
| | 森林整備促進便益 | 636,005 | |
| 山村環境整備便益 | 生活排水浄化便益 | 310,083 | |
| 総 便 益 (B) | | 3,067,727 | |
| 総 費 用 (C) | | 2,065,988 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{3,067,727}{2,065,988} = 1.48$ | | |

森林居住環境整備事業 美山地区(福井県)概要図



| 凡 例 | |
|--------|--|
| 市町村界 | |
| 区 域 | |
| 施工箇所番号 | |
| 施工箇所 | |
| | |

| | |
|--|--------------|
| | 森林基幹道 大仏線 |
| | 森林基幹道 美山線 |
| | 集落排水施設 間戸地区 |
| | 森林管理道 梅ヶ岩線 |
| | 森林管理道 清水線 |
| | 森林管理道 河原奥山線 |
| | 森林管理道 獺ヶ口西浦線 |
| | 森林管理道 朝谷線 |

